

## 泉区内水ハザードマップ 内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。  
※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。  
※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

※内水氾濫の浸水想定区域は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市環境創造局が作成したものです。  
雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なる場合があります。

### 内水浸水想定区域(想定最大規模)は、どうやって決めたの？

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量**153mm**としています。

なお、この内水浸水想定区域は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していません。洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。  
必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

## 泉区洪水ハザードマップ 洪水浸水想定区域(想定最大規模)

境川水系河川：境川、宇田川、和泉川、阿久和川、相沢川

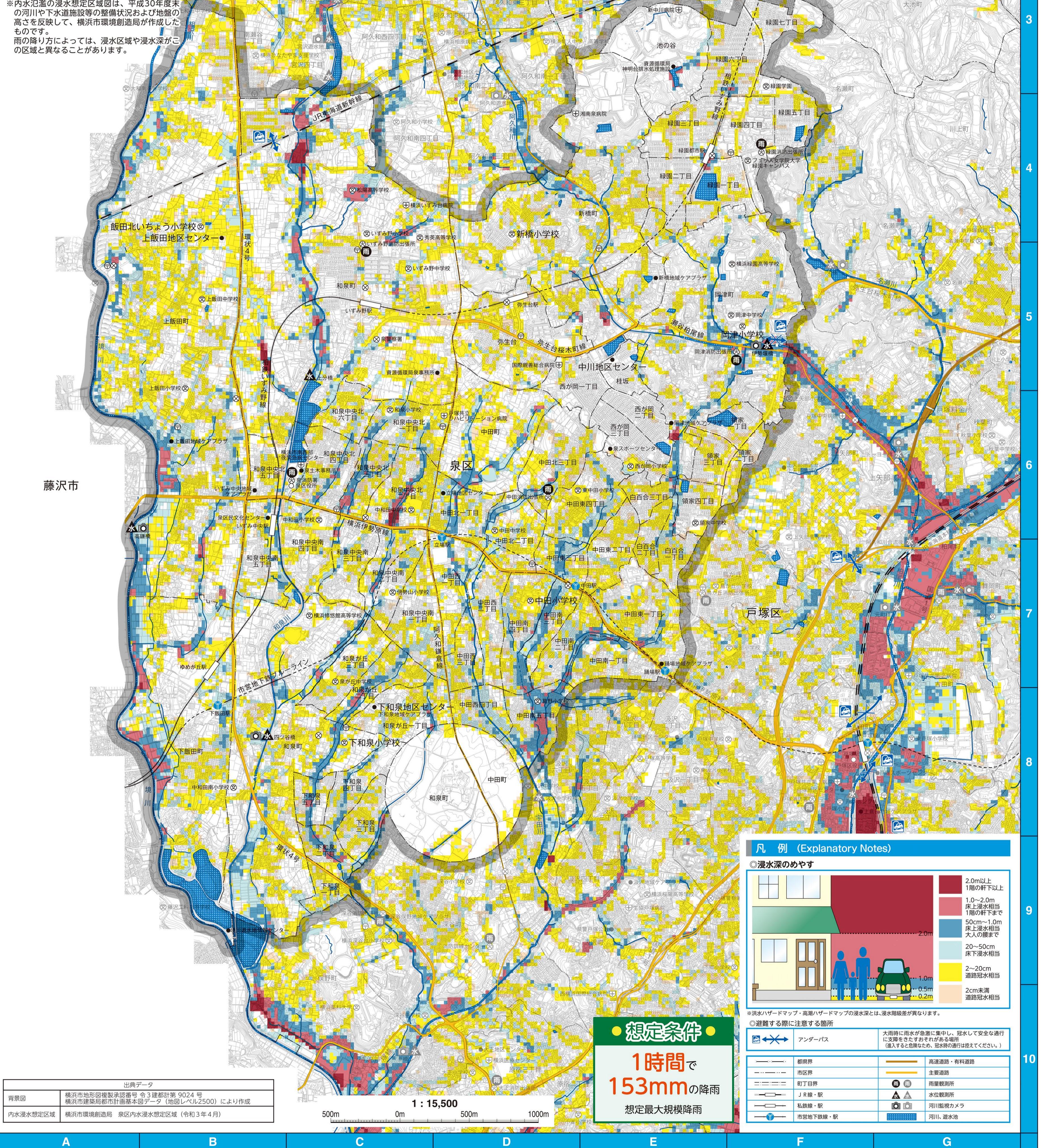
この洪水ハザードマップは、境川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。  
※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。

### 洪水浸水想定区域(想定最大規模)は、どうやって決めたの？

こちらの洪水浸水想定区域の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(24時間で632mm)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が決壊した場合をシミュレーションにより予測したものです。  
【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307mmの降雨を観測しています。  
なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していません。したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

① 神奈川県ホームページ (https://www.pref.kanagawa.jp/docs/14i/cnt/13747/p1039490.html)  
② 横浜地方気象台ホームページ (https://www.jma-net.go.jp/yokohama/)

項目	内容
制作日	横浜市地形情報製図課(更新年度)令和3年度第9024号 横浜市建築局都市計画課(更新年度)令和4年2月現在
河川	横浜市道路局 河川部
浸水想定区域	横浜市道路局 河川部
土砂災害警戒区域	横浜市道路局 土砂災害警戒区域(令和4年2月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市道路局 土砂災害特別警戒区域(令和4年2月現在)



### 凡例 (Explanatory Notes)

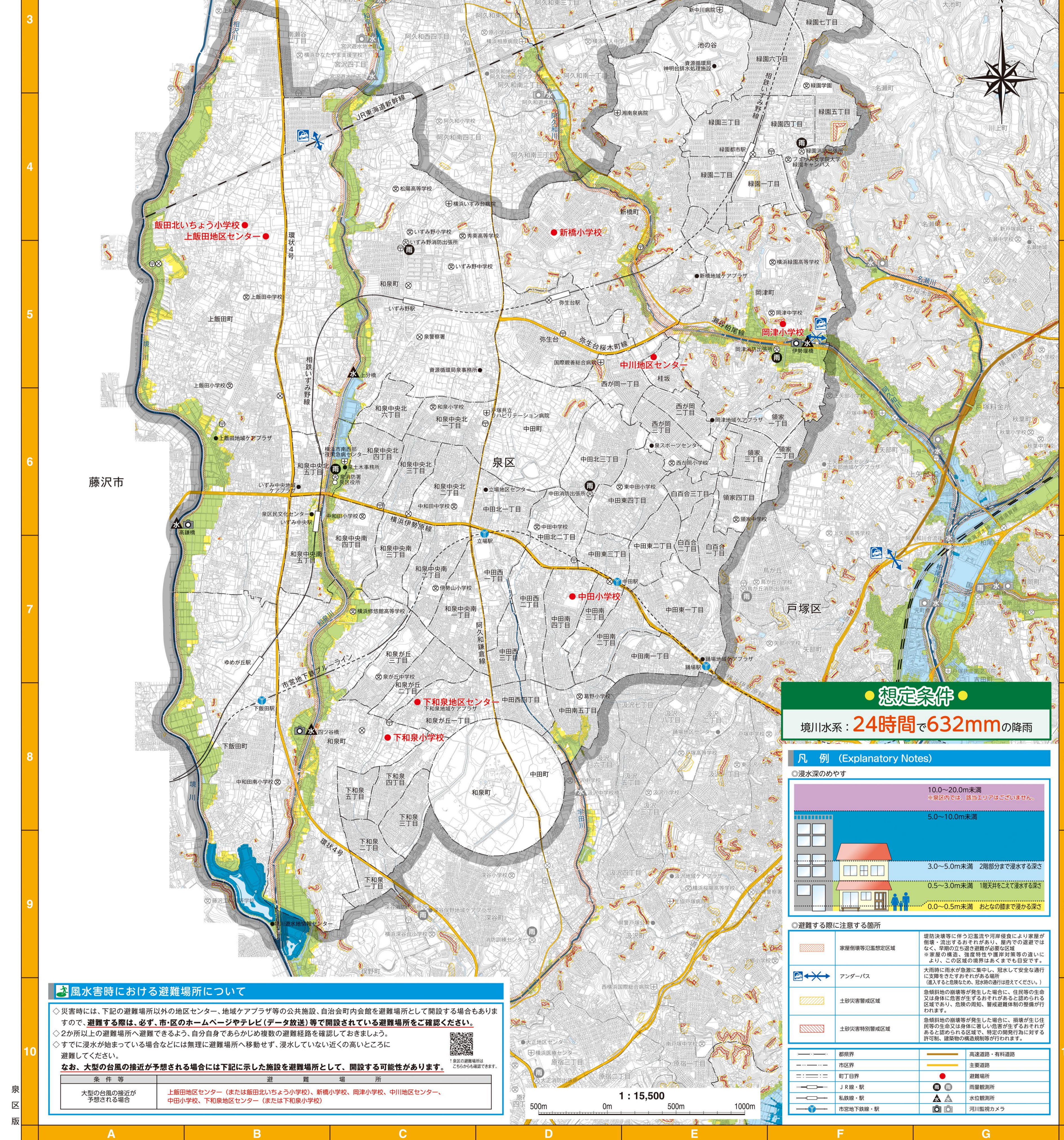
◎浸水深のめやす

2.0m以上	1階以上で浸水	2.0m以上	1階以上で浸水
1.0~2.0m	1階で浸水	1.0~2.0m	1階で浸水
50cm~1.0m	床下浸水	50cm~1.0m	床下浸水
20~50cm	床下浸水	20~50cm	床下浸水
2~20cm	道路浸水	2~20cm	道路浸水
2cm未満	道路浸水	2cm未満	道路浸水

◎避難する際に注意する箇所

アンダーパス  
大雨時に雨水が急激に集中し、浸水して安全な通行が困難になる場合があります。通行の際は、事前に通行の可否を確認してください。

境界線	境界線	境界線	境界線
市界線	市界線	市界線	市界線
J R線・駅	J R線・駅	J R線・駅	J R線・駅
私鉄線・駅	私鉄線・駅	私鉄線・駅	私鉄線・駅
市営地下線・駅	市営地下線・駅	市営地下線・駅	市営地下線・駅
境界線	境界線	境界線	境界線
境界線	境界線	境界線	境界線
境界線	境界線	境界線	境界線
境界線	境界線	境界線	境界線



### 想定条件

境川水系：24時間で632mmの降雨

### 凡例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす

10.0~20.0m未満	10.0~20.0m未満	10.0~20.0m未満	10.0~20.0m未満
5.0~10.0m未満	5.0~10.0m未満	5.0~10.0m未満	5.0~10.0m未満
3.0~5.0m未満	2階部分で浸水する深さ	3.0~5.0m未満	2階部分で浸水する深さ
0.5~3.0m未満	1階天井まで浸水する深さ	0.5~3.0m未満	1階天井まで浸水する深さ
0.0~0.5m未満	0.5m未満で浸水する深さ	0.0~0.5m未満	0.5m未満で浸水する深さ

◎避難する際に注意する箇所

土砂災害警戒区域  
浸水時に土砂災害の危険が高くなる場合があります。通行の際は、事前に通行の可否を確認してください。

土砂災害特別警戒区域  
浸水時に土砂災害の危険が非常に高い場合があります。通行の際は、事前に通行の可否を確認してください。

### 風水害時における避難場所について

災害時には、下記の避難場所以外の地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会内会館を避難場所として開設する場合もありますので、避難の際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(ケーブルテレビ)等で開設されている避難場所をご確認ください。

2か所以上の避難場所へ避難できる場合、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。

なお、大型の台風の場合は、避難場所には下配に示した施設を避難場所として、開設する可能性があります。

条件	避難場所
大型の台風の場合は	上飯田地区センター(または飯田北いちょう小学校)、新橋小学校、中川地区センター、中田小学校、下和泉地区センター(または下和泉小学校)